

トークイベント「九大 1968 — 撮影者 林崎价男^{ともお}氏を囲んで」を開催**概要**

九州大学では、中央図書館にて平成27年2月19日（木）まで、昭和43（1968）年の九州大学箱崎キャンパス米軍機墜落事故とその後を記録した写真展「九大1968 — 林崎价男の写真で振り返る」を開催しています。

この写真展に関連して、平成27年2月3日（火）、撮影者である林崎价男（はやしざき ともお）氏をお招きし、トークイベントを開催いたします。また、当日に限り、写真展で5期に分けて展示中の全31枚の写真を、会場内で一度にご覧いただけます。

背景

昭和43（1968）年6月2日夜、在日米軍板付基地（現・福岡空港）に帰還しようとしていた米軍のファントム偵察機が、九州大学箱崎キャンパスで建設中だった大型計算機センターに墜落、炎上しました。この事故をきっかけに、九州大学は、機体撤去をめぐる大学側と学生が激しく対立するなど、全国的な大学紛争の流れの中、大きく揺れ動きました。

現在開催中の写真展「九大 1968 — 林崎价男の写真で振り返る」では、昭和43（1968）年に起こった九州大学箱崎キャンパスへの米軍機墜落直後から、翌昭和44（1969）年10月の機動隊投入によるキャンパス封鎖解除までの一連の動きを、九州大学文学部の技官であった林崎价男氏が撮影した写真をパネル化し、展示しています。

今回、本写真展に関連して、撮影者である林崎氏を囲んでのトークイベントを開催することとなりました。林崎氏と九州大学の柴田篤教授、折田悦郎教授の3氏が、当時を振り返りながら語り合います。また当日に限り、写真展で5期に分けて展示中の全31枚の写真を、会場内で一度にご覧いただけます。

内容

【日時】平成27年2月3日（火）13:30～15:00

【場所】九州大学箱崎キャンパス 中央図書館 4F 視聴覚ホール（福岡市東区箱崎 6-10-1）
※入場無料、申込不要。一般の方も観覧できます。

【対談者】林崎价男氏（元九州大学文学部 技官）
柴田 篤（九州大学大学院人文科学研究院 教授、1970年文学部入学）
折田悦郎（九州大学大学文書館 教授、1973年文学部入学）

【主催】九州大学 文学部・大学文書館・附属図書館

【Webサイト】<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/events/talk1968>

林崎价男（はやしざき ともお）氏のプロフィール

昭和8（1933）年10月5日、朝鮮半島の扶余生まれ。小学生の時に叔父からカメラをもらい、写真の世界に魅せられる。新聞社勤務などを経て、昭和35（1960）年、九州大学文学部技官。平成16（2004）年に退職するまで、主に美術史や考古学関係資料の写真撮影を担当。文学部の教職員や院生・学生からは、「はやしざきさん、はやしざきさん」と親しまれた。現在81歳、福岡市在住。

■写真展「九大 1968 ー林崎价男の写真で振り返る」 概要

【期 間】平成 26 年 11 月 21 日（金）～平成 27 年 2 月 19 日（木）（12/27～1/4 は休館）
5 期に分けてリレー展示中

I.米軍機墜落	11 月 21 日（金）～12 月 11 日（木）	※終了
II.バリケード	12 月 12 日（金）～12 月 25 日（木）	※終了
III.引き下ろし阻止	1 月 5 日（月）～ 1 月 22 日（木）	※終了
IV. 中門乱闘	1 月 23 日（金）～ 2 月 5 日（木）	
V. 封鎖占拠	2 月 6 日（金）～ 2 月 19 日（木）	

【開館時間】 平日：8:00～22:00 土・日・祝日：10:00～18:00

【場 所】九州大学箱崎キャンパス 中央図書館 （福岡市東区箱崎 6-10-1）

※入場無料。一般の方も観覧できます。

【主 催】九州大学 文学部・大学文書館・附属図書館

【Web サイト】<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/events/qdai1968>

【お問い合わせ】

九州大学 附属図書館 利用支援課 堀・金子

電話：092-642-2533 FAX：092-642-2205

Mail：touservice@jimu.kyushu-u.ac.jp



九大1968

—^{ともお}林崎价男の写真で振り返る—

全会期：2014.11.21（金）～2015.2.19（木）

～第Ⅰ期～第Ⅴ期に分けてリレー展示～

Ⅰ. 米軍機墜落 11/21-12/11

Ⅱ. バリケード 12/12-12/25

Ⅲ. 引き下ろし阻止 1/5-1/22

Ⅳ. 中門乱闘 1/23-2/5

Ⅴ. 封鎖占拠 2/6-2/19



会場：九州大学中央図書館3階（箱崎キャンパス）

九州大学 文学部・大学文書館・附属図書館 共催